

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年4月8日～2017年4月14日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

シリアや北朝鮮の情勢をめぐる懸念から、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、金利は低下し、カナダ・ドル円相場は下落しました。また、トランプ米大統領が米ドル高に対するけん制発言を行ったことから、円高米ドル安が進展し、カナダ・ドル円相場の下落を加速させました。

カナダの金融政策決定会合では、政策金利は据え置かれたものの、カナダ銀行のポロズ総裁が追加金融緩和姿勢を後退させたことが、金利の低下およびカナダ・ドル円相場の下落を抑える要因となりました。

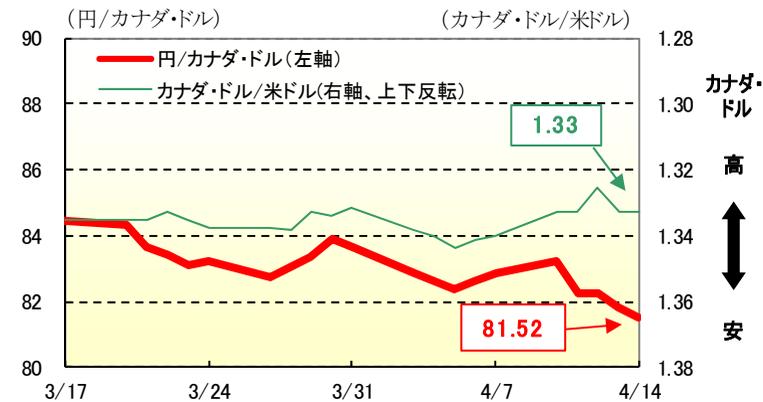
【2】今週の見通し

今週は、シリアや北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりや、混戦の様相を見せるフランス大統領選挙の第1回投票を日曜に控えることで、市場のリスク回避姿勢が継続しやすい環境とみています。

カナダについては、経済環境の好転などを背景に当面は政策金利を据え置きつつも、次の政策金利の変更は利上げ方向とみています。世界的にも金融緩和は拡大から後退する流れとなっており、足元の市場の不透明感が後退すれば、カナダの金利上昇圧力が優勢になるとみています。

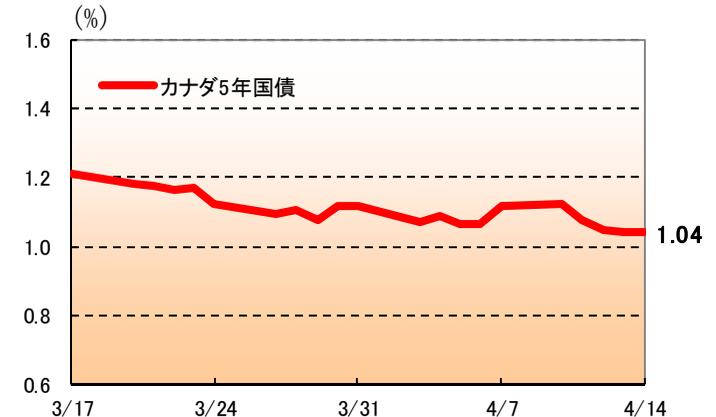
また、中東情勢の緊迫化から原油価格が底堅く推移していることは、カナダ・ドルの下支えになるとみられます。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年3月17日～2017年4月14日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【カナダ 金利推移】 (2017年3月17日～2017年4月14日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>